

元氣企業に迫る！

2号連続連載 1回目

株式会社
ガリレオ
レーシング



全国でも屈指の全長1080メートルを誇るサーキット場。
リミッター付きのレンタルカートで子ども身長145センチ以上なら体験ができる。

日本有数の レーシングカート場が改修で カートもバイクもより安全・快適に

28年ぶりに全面改修をほどこし、昨年3月にリニューアルオープンした、
レーシングカート用サーキット場『ソニックパーク安心院』。
カートのみならずバイクも、より安全・快適な走りを楽しめるようになったと好評だ。

『ソニックパーク安心院』の運営を手がけるのは、「株式会社ガリレオレーシング」。山梨県でゴーカートのフレーム製作に携わっていた同社の創業者が、縁あって当時の安心院町長から誘致され、移住してこのコース場を立ち上げた。1080メートルという全国屈指の長さを誇る、日本カートランド協会加盟のレーシングコースを利用するのは愛好家や上級者だけではない。レンタルカート事業も展開し、子どもや初心者も楽しめるイベントや、自動車メーカー販売店の従業員教育などにも活用されてきた。昨年3月にコースの全面改修が完成してからは、バイクのレースやイベントも増えている。

カートの入れ替えなど細かなリニューアルはおこなってきたものの、コースの全面改修は開業以来初めて。走りやすさやタイムアップだけではなくタイヤの摩耗を抑え燃費の向上をはかるため、路面や白線を整え、バリアも衝撃吸収効果の高いテックプロに変えた。より安全に、より走りやすくなったコースは、初心者や子どもをはじめ、バイクレーサーにも好評。SNSで瞬く間に愛好家たちの話題となり、しばらく開催していなかったバイクレースが再開されるほど、バイクの利用者が増えた。秋も福岡のバイクショップが運営する、100人規模のレースが開催される予定だ。

「コースの改修は長年の課題だったが、解消できたのはいろんな方の助けがあったからこそ」とガリレオレーシングの代表取締役社長を務める松本早苗さん。大がかりな改修のため、大きな資金の準備がネックだったが、宇佐両院商工会のサポートを受け、補助金の申請に挑戦。宇佐市の観光地・観光産業の再生・高付加価値化を目的とした施設整備補助金を活用することができた。大分県の経営革新計画にも採択されたこの取り組みや、持

続化補助金などの申請は「企画や書類の手配、確認など事務作業がとても複雑で大変だった。商工会の担当者が、時には夜遅くまで一緒に頑張ってくれたからこそ。感謝してもしきれない」。もうひとつ大きな支えだったのは、開業時にもコースを手がけ、改修も担当した地元企業の。「コースの舗装に詳しく、なめらかに仕上げる確かな技術、対応の早さに助けられた」。こうして環境を整え、心機一転したソニックパークに、最近うれしい追い風が吹いている。今年からトヨタ

がカート事業に参入し、カート1台30万円台で新車を販売するという。これまで150万円ほどだったカートがその価格になれば、レンタルでなく所有して利用する家族が増えてくるかもしれない。「子どものカート体験は、交通安全の教育、車文化の継承にもいいと思う。メーカーと連携して何かできるのでは」と期待を膨らませている。多くの人々に支えられ、愛され続けてきたこのスポットは、こうした世の中の流れにのり、今後ますます盛り上がるであろう。



1. 宇佐両院商工会のサポートのもと、補助金を活用しパンフレットやポスターなどを作成。
2. 一見敷居の高いモータースポーツの魅力を特にファミリーや初心者に伝えたいという、代表取締役社長の松本 早苗さん。
3. 1回10分2200円（初回のみ500円の登録料が必要）で気軽にカートを体験できる。
4. 改修後はプロのバイクレーサーも定期的に利用したり、バイクレース場としての需要も増加。
5. レンタルカートの耐久レースのほか本格的なレーシングカートレースも開催中。



株式会社 ガリレオレーシング 「ソニックパーク安心院」

宇佐市安心院町木葉985-1
TEL.0978-44-0322
営業 9:00～17:00
休 火曜
ホームページ sonicpark.co.jp



（問）宇佐両院商工会 伴走型小規模事業者支援推進事業

〒872-0521 宇佐市安心院町下毛2112-1
TEL.0978-44-0381 FAX.0978-44-0382

元気企業に迫る！

2号連続連載 **2回目**

温泉旅館

つぶさかん

津房館



「この温泉はうちの宝」と代表取締役の二日一哲也さん。
源泉かけ流し、「美人の湯」と言われるアルカリ性単純温泉。

「美人の湯」とこだわりの会席を 楽しめる老舗旅館

すっぽんをはじめ地元の旬の食材を使用した、こだわりの料理も自慢の『津房館』。
明治33年(1900年)の開業以来、
観光客と地域住民の癒やしの場として愛され続けている温泉旅館だ。

『津房館』は、宿泊業をメインに、宴会や団体の食事提供、弁当、仕出しなどを行う老舗温泉旅館。全室利用可能なWi-Fi設備、スロープや手すり、畳の部屋に椅子とテーブル席の設置、別館の増築などハード面の整備も進め時代の流れに沿った進化を模索し続けている。

父である先代から「人は食がなければ生きていけない。料理の腕があればきつとやっていける」と言われ、旅館を現在切り盛りするのは、料理人でもある4代目の二日一哲也さん。「コロナの時は本当に大変だった。何度やめようと思ったことか」。それでも、高齢化が進む地域や常連のお客様向けに、嚥下障害や持病のある方でも楽しめるユニバーサルデザインフードをメニューに加えるなど新たな取り組みに着手したのは、当時高校生だった息子の「後を継ぐ」という宣言に突き動かされたことだった。

地域の人々や行政の応援もあり、コロナ禍は乗り越えた。新企画のアドバースや補助金申請などをサポートしてくれた、宇佐両院商工会の存在も大きかった。とはいえ、津房館にとって状況は依然として厳しい。物価高、人手不足、宴会や法事などの仕出し需要の減少。次々と訪れる試練にも、息子の

ため、地元の顧客のため、ここを守っていくという気持ちで盾に立ち向かっている。

食材の価格高騰に悩まされながらも、料理へのこだわりは変わらない。すっぽんや豊後牛など地元の高級食材や、毎朝市場で自ら選び抜く地元の旬の食材と、磨き上げた職人の腕でつくる会席料理や仕出しを、良心的な価格設定で提供している。宇佐ブランドの認証を受けた、すっぽん

の鍋や雑炊などの加工品は、有名百貨店からの引き合いもあり、自社サイトでのネット販売も好調だ。

昨年は宇佐両院地域全体で受けた観光庁の補助金を活用し、温泉施設のリニューアルを実施。外装と内装を改修し、快適な施設へと生まれ変わった。pH値9以上の温泉は、無色透明・無味無臭の単純温泉。その泉質は「美人の湯」と呼ばれ、美容通の利用客から分析してみたいと言われたこともあるという。

旧・宇佐郡の掘削第1号だった津房館の温泉。この施設を建てた3代目の父から、3年後に修業から戻ってくる5代目の息子へとこの宝を継承するためにも「みなさんのお力を借りながら、守って広げていきたい」と自身を奮い立たせる。地域を思い、家族を思い、実直に歩む4代目のもと、津房館はこれからも、訪れる人々を温かく迎え続けている。



1. 高齢者の方も安心して利用できる設備を目指し、手すりなどを設置。
2. 温泉施設の2階にある、広々とした和室の休憩所。
3. 脱衣場とシャワーコーナーも、宇佐両院商工会のサポートを受け、補助金を活用してリニューアル。
4. すっぽん鍋セット1万8700円、宇佐ブランドに認証された加工品。
5. 「季節の会席」一泊二食つき本館のお料理。1万3200円～



温泉旅館 津房館
〒872-48 宇佐市安心院町六郎丸477-2 ☎0978-48-2208
IN 16:00 OUT 10:00
料 1万3200円～
※平日1泊2食2名宿泊の場合の1名料金
※不定 40台 カード使用可
客室数/本館3室 別館6部屋 離れ1部屋
風呂/男女別各1※内湯
泉質/単純温泉
効能/疲労回復、ストレス解消、健康増進
<https://tsubusakan.com>



宇佐両院商工会 伴走型小規模事業者支援推進事業

〒872-0521 宇佐市安心院町下毛2112-1
TEL.0978-44-0381 FAX.0978-44-0382